

# (仮称) ふじさわ人権文化をはぐくむ まちづくり指針 【骨子案】

現時点での構成案であり、内容については  
今後の審議検討等により  
変更していきます。

2022年（令和4年）5月23日

藤 沢 市



# 目次

<b>第1章 指針の改定にあたって</b> .....	4
1 人権とは .....	4
2 改定の趣旨と背景 .....	4
3 指針の位置付け .....	4
<b>第2章 人権文化をはぐくむために</b> .....	5
1 基本理念 .....	5
2 基本目標 .....	5
<b>第3章 人権施策を推進するための取組</b> .....	6
1 課題やニーズの把握 .....	6
2 人権教育・人権啓発の推進 .....	6
3 相談・支援の充実 .....	6
4 多様な主体との協働 .....	7
<b>第4章 人権課題の解決に向けた取組</b> .....	8
①ジェンダー平等社会に向けて .....	8
②〇〇〇（子どもの人権） .....	9
③〇〇〇（高齢者の人権） .....	9
④〇〇〇（障がいのある人の人権） .....	10
⑤〇〇〇（同和問題（部落差別）を解決するために） .....	10
⑥〇〇〇（外国につながるのある市民の人権） .....	11
⑦〇〇〇（感染症患者等の人権） .....	11
⑧〇〇〇（ビジネスと人権） .....	12
⑨〇〇〇（犯罪被害者等の人権） .....	12
⑩〇〇〇（生活困窮者の人権） .....	13
⑪〇〇〇（インターネット上における人権） .....	13
⑫〇〇〇（さまざまな人の人権） .....	14
<b>第5章 人権施策の推進体制</b> .....	15
1 推進体制の整備 .....	15
<b>資料編</b> .....	16
1 市民意識調査の概要 .....	16

# 第1章 指針の改定にあたって

## 1 人権とは

※新規に掲載。啓発も含めた導入部分とし、子どもにもわかりやすい言葉で人権についての説明を記載する。

## 2 改定の趣旨と背景

### ■人権施策推進指針策定の趣旨と背景

※指針策定の趣旨と背景についても記載する。

### ■改定にあたっての趣旨と背景

※指針改定にあたっての視点を記載する。また、5年間の市民意識の変化として、調査結果の一部を掲載する。(前回調査との経年比較)

## 3 指針の位置付け

※職員向けのガイドラインではなく、市民や企業、学校や家庭、関係団体等の多様な主体が取り組むべき姿勢を明確に示す。

※「藤沢市市政運営の総合指針 2024」や「藤沢市SDGs 共創指針」等との関連性を示す。

※「藤沢市市政運営の総合指針 2024」における3つのまちづくりコンセプト(めざすべきまちの姿)のうちの一つ“共生社会の実現をめざす誰一人取り残さないまち(インクルーシブ藤沢)”を示す。

※SDGsの視点を取り入れる。

位置付け図

## 第2章 人権文化をはぐくむために

### 1 基本理念

人権を大切にし、「人権文化」を育むまちづくり

※「人権文化」ということばの意義や重要性について、わかりやすく示す。

### 2 基本目標

基本理念に基づき、次の3つの基本目標を設け、これらの実現をめざして、さまざまな人権施策を推進します。

※基本目標は、藤沢市がめざすべきまちの姿とも重なることから、「藤沢市市政運営の総合指針2024」や「SDGs（持続可能な開発目標）」の視点を取り込みつつ、この目標は継承する。専門用語は簡易な表現に一部変更する。

#### 目標1 個人が尊重され、自分らしい生き方ができる社会の構築

（前回）だれもが差別や人権侵害を受けることなく、一人ひとりが個人として尊重され、自分らしい生き方ができる社会の実現をめざします。

#### 目標2 とともに支えあい、ともに生きる社会の構築

（前回）お互いの人権を尊重し、多様性を認めあい、さまざまな人々がともに支えあい、ともに生きる社会を築くことをめざします。

#### 目標3 協働による施策の推進

（前回）人権尊重の視点に立って、市民・NPO・企業・各種団体等と協働し、人権施策を推進します。

## 第3章 人権施策を推進するための取組

※人権施策を推進するにあたり、「藤沢らしさ」を発展・継続していくため、新たにSDGsの視点を取り入れ、また、めざすべきまちの姿として“共生社会の実現をめざす誰一人取り残さないまち（インクルーシブ藤沢）”を位置づけていることから、これらの基本的な取組の考え方や方向性をリード文として掲載する。

### 1 課題やニーズの把握

※市民の人権意識やニーズを把握するためにアンケート調査を実施する旨を掲載する。

※「ふじさわ人権協議会」での審議、「藤沢市人権擁護委員会」をはじめとする各団体からの意見聴取、庁内関係各課で構成される「藤沢市人権事務事業推進連絡会」での議論を踏まえ、策定する旨を掲載する。

◇施策の方向性

1	人権課題の把握	〇〇〇（取組の概要を記載）
2	当事者の思いやニーズの把握	
3		

### 2 人権教育・人権啓発の推進

※現状と課題を踏まえた取組の方向性を掲載する。

◇施策の方向性

1	学校教育における取組	〇〇〇（取組の概要を記載）
2	社会教育における取組	
3		

### 3 相談・支援の充実

※現状と課題を踏まえた取組の方向性を掲載する。

◇施策の方向性

1	相談窓口の充実	〇〇〇（取組の概要を記載）
2	相談・支援・救済に向けた連携	
3	相談員の養成と確保	

## 4 多様な主体との協働

※各種施策を推進するためには、多様な主体と協働して進めていくことが必要なことから、市民、地域団体・機関・企業等、神奈川県や周辺自治体等、各主体との連携・協力に対する考え方を記載する。

### ■市民との協働

### ■企業、関係団体等との協働

### ■国、県、市町村等との協働

## 第4章 人権課題の解決に向けた取組

### ①ジェンダー平等社会に向けて

※多様な生き方や考え方を認め合うまちづくりをさらに進め、男女に限らず、誰もが生きやすい社会の実現に向けたまちづくりを進めていることから、分野別の整理では「ジェンダー平等社会に向けて」とし、その中に男女平等、セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の人権を整理する。

#### ①-1 女性の人権

##### ■現状と課題

※国・県・市の動向（2016年度以降）、市民意識の傾向（調査結果の引用）、取組課題を記載する。

##### ■施策の方向性

※市の施策（取組）と方向性を記載する。

##### 【掲載例】

施策	概要	施策の推進に向けて※1			
		①	②	③	④
男女間の賃金格差と職場における待遇格差の是正	○○○		○		
政策・方針決定過程への女性の参画推進	○○○				○

※1 ①課題やニーズの把握 ②人権教育・人権啓発の推進 ③相談・支援の充実 ④多様な主体との協働(3章参照)

#### ①-2 セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の人権

##### ■現状と課題

※国・県・市の動向（2016年度以降）、市民意識の傾向（調査結果の引用）、取組課題を記載する。

##### ■施策の方向性

※市の施策（取組）と方向性を記載する。

##### 【掲載例】

施策	概要	施策の推進に向けて※1			
		①	②	③	④
啓発活動の推進	○○○		○		
相談・支援	○○○			○	

## ②〇〇〇 (子どもの人権)

### ■現状と課題

※国・県・市の動向（2016年度以降）、市民意識の傾向（調査結果の引用）、取組課題を記載する。

### ■施策の方向性

※市の施策（取組）と方向性を記載する。

【掲載例】		施策の推進に向けて※1			
施策	概要	①	②	③	④
児童虐待防止対策の推進	〇〇〇			○	○
相談・支援体制の充実	〇〇〇			○	○

## ③〇〇〇 (高齢者の人権)

### ■現状と課題

※国・県・市の動向（2016年度以降）、市民意識の傾向（調査結果の引用）、取組課題を記載する。

### ■施策の方向性

※市の施策（取組）と方向性を記載する。

【掲載例】		施策の推進に向けて※1			
施策	概要	①	②	③	④
権利擁護体制の充実	〇〇〇			○	
相談支援体制の充実	〇〇〇			○	○

#### ④〇〇〇 (障がいのある人の人権)

##### ■現状と課題

※国・県・市の動向（2016年度以降）、市民意識の傾向（調査結果の引用）、取組課題を記載する。

##### ■施策の方向性

※市の施策(取組)と方向性を記載する。

###### 【掲載例】

施策	概要	施策の推進に向けて※1			
		①	②	③	④
障がいを理由とする差別の解消に向けた取組	〇〇〇		○		○
権利擁護体制の充実	〇〇〇			○	

#### ⑤〇〇〇 (同和問題(部落差別)を解決するために)

##### ■現状と課題

※国・県・市の動向（2016年度以降）、市民意識の傾向（調査結果の引用）、取組課題を記載する。

##### ■施策の方向性

※市の施策(取組)と方向性を記載する。

###### 【掲載例】

施策	概要	施策の推進に向けて※1			
		①	②	③	④
相談体制の充実と当事者団体との連携	〇〇〇			○	○
実態の把握	〇〇〇	○			

## ⑥〇〇〇 (外国につながる市民の人権)

### ■現状と課題

※国・県・市の動向（2016年度以降）、市民意識の傾向（調査結果の引用）、取組課題を記載する。

### ■施策の方向性

※市の施策（取組）と方向性を記載する。

#### 【掲載例】

施策	概要	施策の推進に向けて※1			
		①	②	③	④
外国につながる市民の権利の保障	〇〇〇				

## ⑦〇〇〇 (感染症患者等の人権)

### ■現状と課題

※国・県・市の動向（2016年度以降）、市民意識の傾向（調査結果の引用）、取組課題を記載する。

### ■施策の方向性

※市の施策（取組）と方向性を記載する。

※新型コロナウイルス感染症の拡大で、患者やその家族、感染症対策に従事する医療・介護・福祉従事者等に対する偏見や差別も含めて整理する。

#### 【掲載例】

施策	概要	施策の推進に向けて※1			
		①	②	③	④
患者本位の保健・医療サービスの推進	〇〇〇		○		

## ⑧〇〇〇 (ビジネスと人権)

### ■現状と課題

※国・県・市の動向（2016年度以降）、市民意識の傾向（調査結果の引用）、取組課題を記載する。

### ■施策の方向性

※市の施策（取組）と方向性を記載する。

#### 【掲載例】

施策	概要	施策の推進に向けて※1			
		①	②	③	④
ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現に向けた環境の整備	〇〇〇		○		○

## ⑨〇〇〇 (犯罪被害者等の人権)

### ■現状と課題

※国・県・市の動向（2016年度以降）、市民意識の傾向（調査結果の引用）、取組課題を記載する。

### ■施策の方向性

※市の施策（取組）と方向性を記載する。

#### 【掲載例】

施策	概要	施策の推進に向けて※1			
		①	②	③	④
相談・支援体制の充実	〇〇〇			○	○

## ⑩〇〇〇 (生活困窮者の人権)

### ■現状と課題

※国・県・市の動向（2016年度以降）、市民意識の傾向（調査結果の引用）、取組課題を記載する。

### ■施策の方向性

※市の施策（取組）と方向性を記載する。

※ホームレス（野宿生活者）に限定せず、貧困等を背景として発生する複合的な人権課題として整理する。

#### 【掲載例】

施策	概要	施策の推進に向けて※1			
		①	②	③	④
相談・支援体制の充実	〇〇〇			○	○

## ⑪〇〇〇 (インターネット上における人権)

### ■現状と課題

※国・県・市の動向（2016年度以降）、市民意識の傾向（調査結果の引用）、取組課題を記載する。

### ■施策の方向性

※市の施策（取組）と方向性を記載する。

#### 【掲載例】

施策	概要	施策の推進に向けて※1			
		①	②	③	④
適正なインターネット利用の推進	〇〇〇		○		

## ⑫〇〇〇 (さまざまな人の人権)

### (1) さまざまな人の人権

- ・先住民族
- ・刑を終えて出所した人
- ・北朝鮮当局による拉致被害者
- ・震災等の被災者
- ・婚外子
- ・戸籍に記載がない人
- ・難民

### (2) さまざまな人権課題

- ・人身取引
- ・貧困・生活困窮⇒⑩生活困窮者の人権へ
- ・自殺
- ・複合差別
- ・差別落書き

掲載場所、内容は要検討

## 第5章 人権施策の推進体制

### 1 推進体制の整備

- ・組織及び体制の充実
- ・職員への人権研修
- ・人権情報の収集と活用
- ・概ね5年ごとに指針の改定を実施
- ・人権行政の推進とチェック機能について掲載する。

# 資料編

## 1 市民意識調査の概要

※調査の概要、主な調査結果を掲載予定

※その他掲載内容は今後検討